

まちのニュース カメラアイ ～地域の問題をお届けします～



ちがいを認め合うまちに必要なこと

生涯学習講演会「ちがいを認め合うまちに必要なこと」を、公民館で開催しました。

講師には、特別支援教育の最前線で活躍するLITALICO（リタリコ）の佐藤睦さんを東京から招き、近隣町村からも様々な職業・立場の方が集まり参加者42名が机を囲み特別支援教育には何が大切なのかを学びました。



女性セミナー 和寒町の防災

第3回女性セミナー「和寒町の防災」を公民館で開催しました。

講師は防災士の土井一光さんと総務課の担当職員が努め、災害が起きたときの心構えや、何をしなければならないか等についてお話ししました。また、災害時のために町で備蓄している防災食の試食をおこない、参加者は避難したときのことを想定しながら真剣に学んでいました。



チーズ！チーズ！チーズ！

昨年も大好評だった公民館講座「チーズ！チーズ！チーズ！」を和寒小学校家庭科室で行いました。子どもから大人まで29名が参加し、昨年よりもグレードアップした内容とチーズの味に大いに盛り上がりました。

ジャパチーズ代表の長尾英次さんは「乳製品は数少ないいのちを奪わない食べ物である。そのことに誇りを持っている」と語り、食育やいのちの授業など様々な分野にまたがった貴重なお話しをしていただきました。



認知症講演会

保健福祉センターに旭川市の認知症家族の会「ほっとひととき」代表役員の片山孝明氏を招き、「認知症の母と暮らして」をテーマに講演会を開催しました。片山さんは、ご自身の母親が認知症とわかった時の心境や介護のために早期退職したこと、母への暴言を抑えきれなかった貴重な体験を話され、また、日々の暮らしの中で困ったことや身近な人が認知症になる前にできること、家族の会の活動などについてお話いただきました。

会場には100名を超える方々が来場され、真剣に耳を傾け、認知症の理解を深めていました。

2/24
(金)



6年生が和寒町の未来に提案

和寒小学校6年生と奥山町長が、これからのまちづくりについての意見交換「和寒の未来を考える会」で、活発な討論を行いました。

児童は町民アンケートをもとに主張をまとめ、この日は6つの発表が出されました。

発表者は、なぜ必要であるかや実施にかかる費用などを論理的に説明し、スライドや動画を用いてわかりやすく発表していました。

最後に奥山町長からは、「良く調べており素晴らしい内容だった。皆さんが和寒町の出身だと自慢できるような町になるようこれからも努力していきたい」と感想を述べました。

2/25～26
(土・日)



1市2町合同ジュニアリーダー研修Ⅲ期

美瑛町大雪青少年交流の家で、今年度最後のリーダー研修が行われました。

和寒からの参加人数は今年度最高の22名で、国際問題を学ぶゲームや、ニュースポーツのキンボール等を体験し、士別・剣淵の5年生とも楽しく集団行動の大切さを学びました。

2/18
(土)



冬の夫婦岩にGO!

北のきらきらキッズプロジェクト主催の「親子で学ぶ真冬のフットパス体験」が開催され、17名（うち子ども8名）がJR塩狩駅から夫婦岩までの往復6kmを歩きました。

真冬の和寒町はやはり厳しく、時折吹雪に見舞われる天候でしたが、冬にしか通れないコースを全員無事に歩ききることができました。

写真は出発して間もないところでの子どもたちの様子です。最初は元気に歩いていましたが、帰り道はさすがに疲れたのか、終始無言で歩き続けていました。

2/19
(日)

3/20
(月)



スキー協会主催 アルペン2大会終了

2月19日(日)に和寒東山ジャイアントスラローム大会、3月20日(月)に全道ジュニアアルペンスキー大会が、和寒町スキー協会主催により開催されました。

幼児組から大人まで全道各地から多くの参加があり、優勝目指してレースが繰り広げられていました。

なお、大会結果はスキー協会ホームページに掲載しています。



3/10
(金)

8名が卒業証書を受け取る

札幌自由が丘学園三和高等学校の卒業証書授与式が行われました。

亀貝一義校長からは「皆さんは多くの経験を積んできた。これからも目標を持って生きて欲しい」と激励の言葉が贈られました。

8名の卒業生は、これまでの思い出を振り返りながら涙をにじませ、校舎を後にしました。



2/28
(火)

楽しく体を鍛えよう

公民館講座「ファットガールズシェイプアップ」が総合体育館で行われました。講師は旧蘭留小学校でフィットネスジムを始めた、FATGIRLS代表の三上司さんです。

老若男女関わらず13名の参加者が、普段使わない筋肉をストレッチで呼び起こし、その後ケガをしない動きでバーベルを持ち上げるなど様々なトレーニングをしました。

講座後、参加者は疲労感を感じさせない姿勢ですっきりと背筋が伸びていました。



3/10
(金)

タオルを役立てて

楽縁くらぶ（今田八千代代表）の会員10名から、入所者の生活や施設の管理に役立てて欲しいと、芳生苑に約160枚のタオルを寄贈していただきました。

同くらぶでは、これまでも駅の清掃活動や小学校への雑巾の寄贈など、奉仕活動に熱心に取り組んでいます。

芳生苑は、「施設では様々な用途で多くのタオルが必要になるので、本当に助かります」と感謝していました。



2/28
(火)

幻想的な風景が塩狩峠に

三浦綾子さんの小説「塩狩峠」のモデルとなった、列車事故で命を落とした長野政雄さんの命日に合わせて、しおかりキャンドルナイトが開催されました。

臨時開館した塩狩峠記念館の周辺には約300個のアイスキャンドルが並べられ、幻想的な雰囲気写真を収めようと、三浦綾子ファンのみならず、カメラマンも多く訪れていました。